

令和5年度 京都工芸織維大学  
グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト  
『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）募集要項

**目次**

0. はじめに
1. プロジェクト構想にいたるまで
2. プロジェクトが目指す人材像
3. プロジェクトの進み方
4. 『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）の募集について
5. 『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）の選抜及び結果通知
6. 入学手続
7. 費用
8. その他

**0. はじめに**

本学は、令和4年から、サムコ株式会社会長辻理氏の支援協力を得て、「企業人ドクター」というキーワードのもと、産学協働プロジェクト「グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト」を実施します。

このプロジェクトは、次の（1）～（5）のプログラム等をパッケージ化した京都企業から世界を展望する概ね45歳前後を対象とする「企業人ドクター」育成の産学協働プロジェクトです。

- （1）「先端材料科学」で構成する寄附講座「サムコ辻理寄附講座」での半期の学修
- （2）「企業人ドクター」を養成する2年間の博士後期課程（「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」）での学修
- （3）企業人大学院生を入学前後でサポートするメンターの配置
- （4）産学協働研究会（「先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー」）での研究の鍛え上げ
- （5）博士後期課程における研究活動・加速化支援（研究経費等の支援など）

**1. プロジェクト構想にいたるまで**

令和3年9月、辻氏と本学森迫学長との懇談において、人生100年時代を迎え、研究開発のリーダーとして活躍が期待できる人材育成の必要性とその方策について、企業経営者、アカデミア双方の立場から意見交換が行われ、▽日本の先端ものづくり企業において、「国際競争力」「人材育成」の強化は、急務になっていること、▽そのために企業の中核人材となる40歳代半ばの研究者を鍛え、新たなステージに飛翔させ、引き続き企業において活躍すること、▽日本企業の現状に鑑みて、こうした有能な人材の育成は、企業の国際競争力を強靭にし、産業界の科学力向上を期待することができること、▽その方策として、学位博士号を取得する過程を通じて実現させること、▽本学の理念にある「京都発の先鋭的な国際的工科系大学 KYOTO Institute of Technology として、これまでにないに新しい発想や価値の創造を実現」すること、以上の点で意見の一貫を見るに至りました。

本学としては、これらは、日本の技術力向上にまさに的を射た視点であり、こうした人材が企業の更新を行うことによって、さらに「企業の人材育成の好循環」を生み出すことが期待できると考えており、辻氏からは、全面的な資金提供という、極めてありがたいお申し出を頂くに至りました。

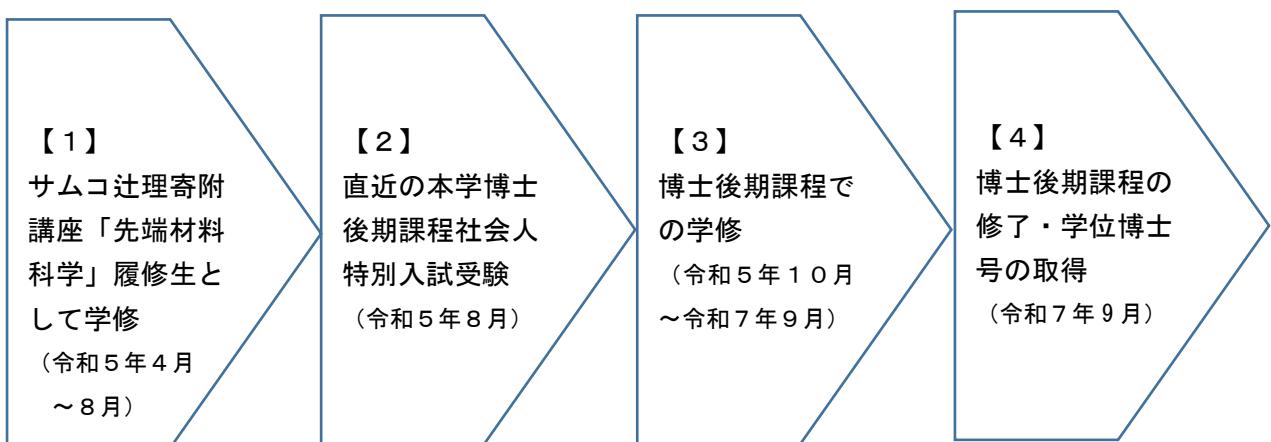
## 2. プロジェクトが目指す人材像

このプロジェクトが目指す人材像は、次のとおりです。

- ・学位取得後、50歳代～60歳代の20年間、引き続き所属企業のリーダーとしての活躍が期待される人
- ・「英語力」を活かし、グローバルな舞台で研究者とのネットワークを構築できる人
- ・最先端のサイエンスを探求する力に加え、サイエンスに関する俯瞰力を駆使できる人

## 3. プロジェクトの進み方

このプロジェクトは、次の【1】～【4】の順に進みます。



### 【1】サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」履修生として学修

- ・履修生は、学籍上は、「特別受入学生」となります。
- ・「先端材料科学」をテーマに、学内外、産業界、海外から多彩な講師陣を招いた講義を履修します。この講義には、本学大学院工芸科学研究科に在籍する一般学生等も受講します。
- ・ゼミ形式に準じたスタイルで、次のこと取り組みます。
  - (1)博士後期課程にふさわしい魅力ある研究計画の策定とブラッシュアップ
  - (2)グローバル人材としての語学力の掘り起し
  - (3)履修生自身の企業での研究開発実績の「棚卸」
  - (4)研究開発実績のアカデミアとしての評価
  - (5)履修者に対する第三者によるSWOT分析
  - (6)産学協働研究会「先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー」での研究計画のプレゼン（セッション1）
- ・このほか、本学大学院工芸科学研究科博士後期課程指導教員とのマッチング、履修生、履修生が所属する企業の経営者層の方及び本学教員による「三者面談」を通して、今後の研究計画（研究場所・研究時間等を含みます）、研究内容が、博士後期課程で展開される「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」に適うものであるかどうか、出願資格と併せて、同プログラムを履修するために必要な適性の有無などを最終確認します。
- ・最終確認の結果を踏まえ、直近の本学大学院工芸科学研究科博士後期課程社会人特別入試（令和5年8月実施）に出願するものとします。（出願を義務付けるものではありません。）

## 【2】直近の本学大学院工芸科学研究科博士後期課程社会人特別入試受験（令和5年8月）

## 【3】本学大学院工芸科学研究科博士後期課程での学修（令和5年10月～令和7年9月）

- ・令和5年秋入学となります。
- ・学籍上は、「大学院生（社会人コース学生）」となります。
- ・特別受入学生として『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』で学修し、研究計画、研究内容が博士後期課程「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」に適うものと認められ入学された方は、当該プログラムの履修者として、今までの企業におけるバックグラウンドに隣接する新たな領域にチャレンジする力、英語力、論文読解/作成能力、世代や国境を越えた人脈形成を涵養するため、次のことに取り組みます。
  - (1) 産学協働研究会「先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー」での研究発表・ディスカッション（セッション2～4）
  - (2) 国内外の学会への積極的な参画・発表/ジャーナル投稿
  - (3) 研究の遂行と博士論文作成（和・英）

## 【4】本学大学院工芸科学研究科博士後期課程の修了・学位博士号の取得

### 4. 『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）の募集について

- ・募集人数：概ね4名
- ・募集期間：令和5年2月28日（火）まで
- ・応募資格  
『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生の応募資格は、次の①～⑤のいずれも満たすことを要します。
  - ① 履修生志願者の研究領域が、マテリアル全般であること
  - ② 履修生志願者が所属する企業が、京都府及びその近傍に活動拠点を有する中小・ベンチャーを含む中堅企業であること
  - ③ 履修生志願者は、②の企業に勤務する、概ね45歳前後の技術職又は研究職に就いている人で修士の学位を有するもの又は修士の学位を有する者と同等以上の研究実績を有するもの
  - ④ 履修生志願者が所属する企業が、履修生志願者のプロジェクト学修を承認していること
  - ⑤ 京都商工会議所等経済団体が、履修生志願者が所属する企業を推薦していること
- ・応募方法  
※応募にあたっては、研究領域、研究内容等について、事前に、本学に相談・確認されることを推奨いたします。

#### 応募手続に必要な書類

- 【1】特別受入学生申請書（様式1）
- 【2】志願者本人の履歴書（様式2）
  - ・履修生志願者が所属する企業名で、上記必要書類を、上記募集期間中に本募集要項末尾記載の提出先まで提出してください。

### 5. 『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）の選抜及び結果通知

- ・書類審査（必要に応じ、面接審査）を行った後、履修生候補者について、本学が、別に定め

る経済団体に推薦の可否を照会します。

- ・当該経済団体からの推薦を経たのち、学内の審議に附し、履修生を決定します。
- ・選抜結果は、令和5年3月中に、応募者に通知します。

## 6. 入学手続

入学手続については、選抜結果通知にてお知らせします。

## 7. 費用

- ・履修生（特別受入学生）に係る検定料・入学料・授業料は、かかりません。
- ・別途、「3. プロジェクトの進み方【2】」に記載する「社会人特別入試」以降については、検定料30,000円（予定）の支払いを要するほか、本学大学院工芸科学研究科博士後期課程入学時に入学料282,000円（予定）、授業料；半期267,900円（予定）、年額535,800円（予定）学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料の支払いを要します。詳細につきましては、今後受験する「社会人特別入試」に係る学生募集要項の記載内容でご確認ください。

## 8. その他

- ・博士後期課程「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」は、複数のメンター（教授）のもと2年間で博士の学位を取得するためのプログラムです。具体的なプログラム内容については、「三者面談」などを経て、最も成果が上がるようオーダーメイドしていきます。
- ・産学協働研究会「先端マテリアルサイエンス京都産学協働アカデミー」は、このプロジェクト履修者をコアとした、先端マテリアルのシーズ/テーマ融合を目指し、持続的国際人ネットワークの形成、次代人材教育につながる好循環を創出することを目標とする研究会活動です。
- ・博士後期課程「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」履修者の所属研究室には、研究加速のための研究費が配分されます。
- ・博士後期課程「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」履修者のうち、『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』での学修状況、上記博士後期課程社会人特別入試の成績などが優秀な方については、所得要件等の諸条件を満たした場合、入学料・授業料相当額の免除の対象となることがあります。
- ・博士後期課程「先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム」履修者は、その所属する企業との関係で、特許出願情報など個別・具体的な状況に鑑み、履修者、履修者が所属する企業及び本学の三者間で、必要に応じて、機密保持に係る契約を締結することができます。

＜募集要項内容についての問合せ先・応募書類提出先＞

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎橋上町1

国立大学法人京都工芸繊維大学

研究推進・産学連携課

電話 075-724-7035 FAX 075-724-7030

Eメール sangaku@jim.kit.ac.jp

## 別紙

令和5年度京都工芸繊維大学グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）募集要項中、「5.『サムコ辻理寄附講座「先端材料科学」』履修生（特別受入学生）の選抜及び結果通知」における「別に定める経済団体」は、下記のとおりする。

## 記

京都商工会議所

公益社団法人 京都工業会

公益財団法人 京都産業21

公益財団法人 京都高度技術研究所

京都府中小企業団体中央会